

# 平成十九年春の展示会報告

国立公文書館春の特別展「再建日本の出発 一九四七年五月 日本国憲法の施行」を平成十九年五月三日（木・祝）から二十二日（火）までの二十日間、本館一階展示ホールで開催した。

本展示会は、平成十九年（二〇〇七）が昭和二十二年（一九四七）五月三日の日本国憲法施行からちょうど六十年に当たることになんぞ企画したものである。平素は展示されない「日本国憲法」、「大日本帝国憲法」の「原本」を展示し、加えて「新憲法の制定」、「公布に伴う施策」、「戦後改革の諸相」の三部構成で、「再建日本の出発」に向けて様々な制度や政策が立案、検討、審議され、実施に移された過程の公文書等を五七点展示した。

参観者は、九、六八一名。講演会は、ノンフィクション作家の保阪正康氏を招き、「著述家と史料の収集・管理について」の演題で行われ、好評を博した。